

## 臨床情報使用に関するお知らせ

『研究課題名 心不全に対する SGLT2 阻害薬の有効性についての検討』

### 【研究の背景および目的】

診療機器の進歩などに伴い虚血性心疾患や不整脈疾患の治療は日々進歩を遂げております。しかし、近年まれにみる高齢化を主体とし、心不全患者は増加の一途をたどり、心不全パンデミックの状況を呈しております。新たな心不全の分類が発表されるなど、心不全の病態解明が進んでいますが、その治療戦略にはいまだに不明な部分が多いのが現状です。SGLT (Sodium-glucose cotransporter) 2 阻害薬は糖尿病治療に対して開発された薬剤ですが、心不全治療に有効であることが証明されています。しかし、その作用機序などについては未だに解明されていない点が多く存在しています。本研究では、当院で過去に SGLT2 阻害薬を服用し心不全治療を行った症例を後ろ向きに検討します。新たな知見について検討を行うことは予後改善や病態解明などにつながり、今後の心不全治療に寄与できるものと考えております。

### 【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

大森病院循環器内科学講座および池田隆徳主任教授は各製薬会社や医療機器メーカーから講演料もしくは研究寄付金を取得しています。資金提供を受けている企業が研究に関与すること (利益相反状態) を回避するために、医療情報の調査や得られたデータの解析などは複数の医局員 (研究実施担当者) で担当し、研究実施担当者が合議で進め、お互いにチェックし合う体制を構築しています。この手順により企業との利益相反を回避し、結果公表のバイアスを防止すると共に、成果の客観性を保つように配慮いたします。

2020年1月～2023年3月までに東邦大学医療センター大森病院循環器内科において、心不全のために SGLT2 阻害薬を含む治療をうけた患者様を対象として、治療期間中に行った血液検査や画像検査の結果、薬物療法などの治療経過を電子カルテ記録から抽出し、解析することにより治療効果と安全性を調査します。

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報や検査結果を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。

### 【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院

循環器内科

職位・氏名 講師 木内 俊介、医師 村上 敬規

電話 03-3762-4151 内線 6545